

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製 品 名 : WASH LIFE
会 社 名 : J&Co株式会社
住 所 : 大阪府大阪市中央区淡路町2-2-6
担当部門/緊急連絡先 :
電話番号 06-7502-3008
製品説明 : 食品,工業用アルカリ性洗剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	分類対象外
高圧ガス	分類対象外
引火性液体	区分外
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	区分外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類対象外
急性毒性(吸入:粉塵)	分類対象外
急性毒性(吸入:ミスト)	区分外
皮膚腐食性/刺激性	区分外 ※GHS 混合物分類判定システム(加成方式)に基づく
目に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分外 ※GHS 混合物分類判定システム(加成方式)に基づく
呼吸器感作性	区分外
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分外
生殖毒性	区分外
特定標的臓器・全身毒性	区分外
吸引性呼吸器有害性	区分外

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	区分外
水生環境慢性有害性	区分外

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル	無し
注意喚起語	無し
危険有害性情報	無し

注意書き

[安全対策]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 ・ 取扱後は手をよく洗うこと。 ・ 保護手袋/保護衣/保護メガネ/保護面を着用すること。
[応急措置]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 ・ 皮膚（または髪）に付着した場合：多量の水で洗い流すこと。 ・ 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 ・ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ・ 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
[保管]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直射日光を避け、雨水のかからない換気の良い場所に保管する。 ・ アルミニウム・銅製の容器に保管しないこと。
[廃棄]	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容物や容器を都道府県または市町村の明示する規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	成分	CAS No.	濃度wt%
	：混合物		
	：水	7732-18-5	75-98
	：アルカリビルダー1	非公開	裾切値未満
	：アルカリビルダー2	非公開	裾切値未満
	：アルカリビルダー3	非公開	裾切値未満
	：キレート剤	非公開	裾切値未満
	：非イオン界面活性剤	非公開	裾切値未満

4. 応急措置

吸入した場合	：ミストを吸い込んだときは、直ちに新鮮な空気のある場所へ移動し、鼻をかんだり、よくうがいをする。何らかの異常を感じた時は、直ちに医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	：直ちに多量の水でぬめり感がなくなるまで十分に洗い流す。衣服や靴などに付いたときは、直ちに脱ぎ皮膚を多量の水でぬめり感がなくなるまで十分に洗い流す。 何らかの異常を感じた時は、直ちに医師の診断を受ける。
目に入った場合	：直ちに流水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。その後、直ちに医師の処置を受ける。
飲み込んだ場合	：直ちに水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませて、直ちに医師の処置を受ける。無理に吐かせようとしない。

いずれの場合も、医師への診察時には、製品または製品安全データシートを持参する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、泡、粉末、二酸化炭素などの一般消火剤が使用できる。
- 消火方法 : 本製品は不燃性物質であるが、周辺火災の場合はすみやかに安全な場所に移す。
移動ができない場合は、風上より容器周辺に散水して冷却する。
-

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 保護メガネ、ゴム手袋、ゴム長靴、保護衣、保護マスクなどの保護具を着用する。漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項 : 雨水溝、河川、海上などに排出されないように注意する。
- 除去方法 : ほうきなどを用いてできる限り空容器などに回収する。
回収した跡、または回収できないものは、多量の水にて充分に洗い流す。
洗浄機は、酸（希硫酸など）で中和してから排水する。
-

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- ・作業時は必ず保護メガネ及びゴム手袋、ゴム長靴を着用する。
 - ・使用時は洗浄剤が飛散しないように丁寧に扱う。
 - ・飛散したミストを吸い込んだり、目に入らないように注意する。
 - ・使用後は必ず水道水で充分に水洗いする。
 - ・用途以外には絶対に使用しない。
 - ・他の薬剤、洗浄剤などとは絶対にまぜない。
 - ・誤飲等事故の恐れがあるので、食品等の容器を含む他の容器に移し替えたり小分けしない。
 - ・使い終わった容器は、よく洗ってから処理する。
 - ・移動・保管時は容器の口をしっかりと閉める。
 - ・倒したり・こぼしたりしないように注意する。
 - ・排水は中和処理する。
- 保 管
- ・直射日光・高温多湿な場所を避けて密閉して保管する。
 - ・子供の手の届かないところに保管する。
-

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取扱い場所の近くに洗眼、身体洗浄のための設備を設ける。
- 管理濃度 : 対象外（対象物質の含有無し）
- 許容濃度 : 対象外（対象物質の含有無し）
- 保護具
- | | |
|--------------|------------|
| : 手の保護具 | : ゴム手袋 |
| : 目の保護具 | : 保護メガネ |
| : 皮膚及び身体の保護具 | : 保護衣、ゴム長靴 |
-

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態 : 形状・色；白色透明液状
- pH : 12.0～13.0 （原液、25℃）
- 溶媒に対する溶解性 : 水に溶解する
- 引火点 : なし （不燃物）
- ヒ素 : 0.067mg/L以下(不検出)
- （食品・添加物規格基準 厚生省告示第370号洗浄剤成分規格 : 製品150倍希釈液）
- 重金属 : 1.0mg/L以下（不検出）
- （食品・添加物規格基準 厚生省告示第370号洗浄剤成分規格 : 製品150倍希釈液）
-

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の取扱い条件（屋内、常温）においては安定である。
反応性	: 酸性物質と反応し中和熱を発生する。
避けるべき条件	: 酸性物質との接触、40℃以上の高温下での保管、直射日光下、解放状態
避けるべき材料	: ず、亜鉛などの金属類、漆器 アルミニウム、銅、銅合金などは指定された濃度以外での使用を避ける。
危険有害な分解生成物	: 特になし

11. 有害性情報

急性毒性	: 「WASH LIFE」原液	A T E : 34,900mg/kg	区分外
局所効果	: 皮膚に触れた場合	; 人によっては肌荒れを起こす場合がある。	
	目に入った場合	; 付着したまま放置すると炎症を起こす恐れがある。	
	飲み込んだ場合	; 口腔・食道・胃部の灼熱感がある。	
	吸入した場合	; ミストを吸入した場合、鼻・喉。気管支・肺を刺激する。	
感作性	: データなし		
慢性毒性・長期毒性	: データなし		

12. 環境影響情報

移動性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
生態毒性	: アルカリ性であるため、流出した場合は水生生物に対して影響を及ぼす。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 少量の場合は、水で希釈してから、酸（希硫酸など）で中和して排出する。 多量の場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者にて 委託処理する。
汚染容器・包装	: 使い終わった容器は、よく洗ってから処理する。

14. 輸送上の注意

国際法規制	
海上規制情報	: IMOの規定に従う。
航空規制情報	: ICAO/IATAの規定に従う。
UN No	: —
海洋汚染物質	: 非該当
国内法規制	: 特になし
輸送の特定の安全対策及び条件	: ・輸送前に容器の破損、腐食、漏れがないことを確認する。 ・荷役作業は丁寧に扱い、容器を破損しないように取り扱う。 ・転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を行う。 ・直射日光下での輸送は避ける。 ・水濡れを避ける。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法	： 該当しない
化学物質管理促進法(P R T R 法)	： 該当しない
労働安全衛生法／通知対象物	： 該当しない
表示物質	： 該当しない
有機則	： 該当しない
特化則	： 該当しない
消防法	： 該当しない
航空法	： 該当しない
危険物船舶運送及び貯蔵規則	： 該当しない
海洋汚染防止法	： 該当しない
港則法	： 該当しない
瀬戸内海環境保全特別措置法	： 該当しない
土壌汚染対策法	： 該当しない
水質汚濁防止法（健康項目）	： 該当しない
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	： 該当しない

16. その他の情報

問合せ先	： J&Co株式会社
	： 電話番号 06-7502-3008
改訂の記録	： 作成；2021年1月5日
	： 改訂；2021年4月3日（2.『金属腐食性物質』区分変更、8.『暴露防止』管理濃度・許容濃度変更）

引用文献 　： ・製品安全データシートの作成指針（改訂版）〔社〕日本化学工業協会（平成13年10月）]
　　・ J I S Z 7 2 5 0 ： 2000／化学物質等安全データシート（MSDS）
　　・ 毒物劇物取締全書〔じほう〕
　　・ 1 4 5 0 1 の化学商品〔化学工業日報社〕
　　・ 化学品別の用法規総覧〔化学工業日報社〕
　　・ 危険物船舶運送及び貯蔵規則（十一訂版）〔海文堂〕
　　・ 公害防止の技術と法規（水質編）〔（社）産業公害防止協会〕
　　・ 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善促進の進め方
　　〔（財）日本規格協会〕
　　・ 安全衛生情報センター，2009：GHSモデルMSDS

※記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データなどに基づいて作成しており、情報の完全さ、正確さを保障するものではありません。すべての化学品には未知の危険、・有害背があり得るため、ご使用の際は用途・用法に適した安全対策を実施の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。

以上